



Collabo

- 1面 協働事業提案を募集
- 2面 実施スケジュール
- 3面 NPOの現場から・トークサロン報告
- 4面 団体紹介・お知らせ・他

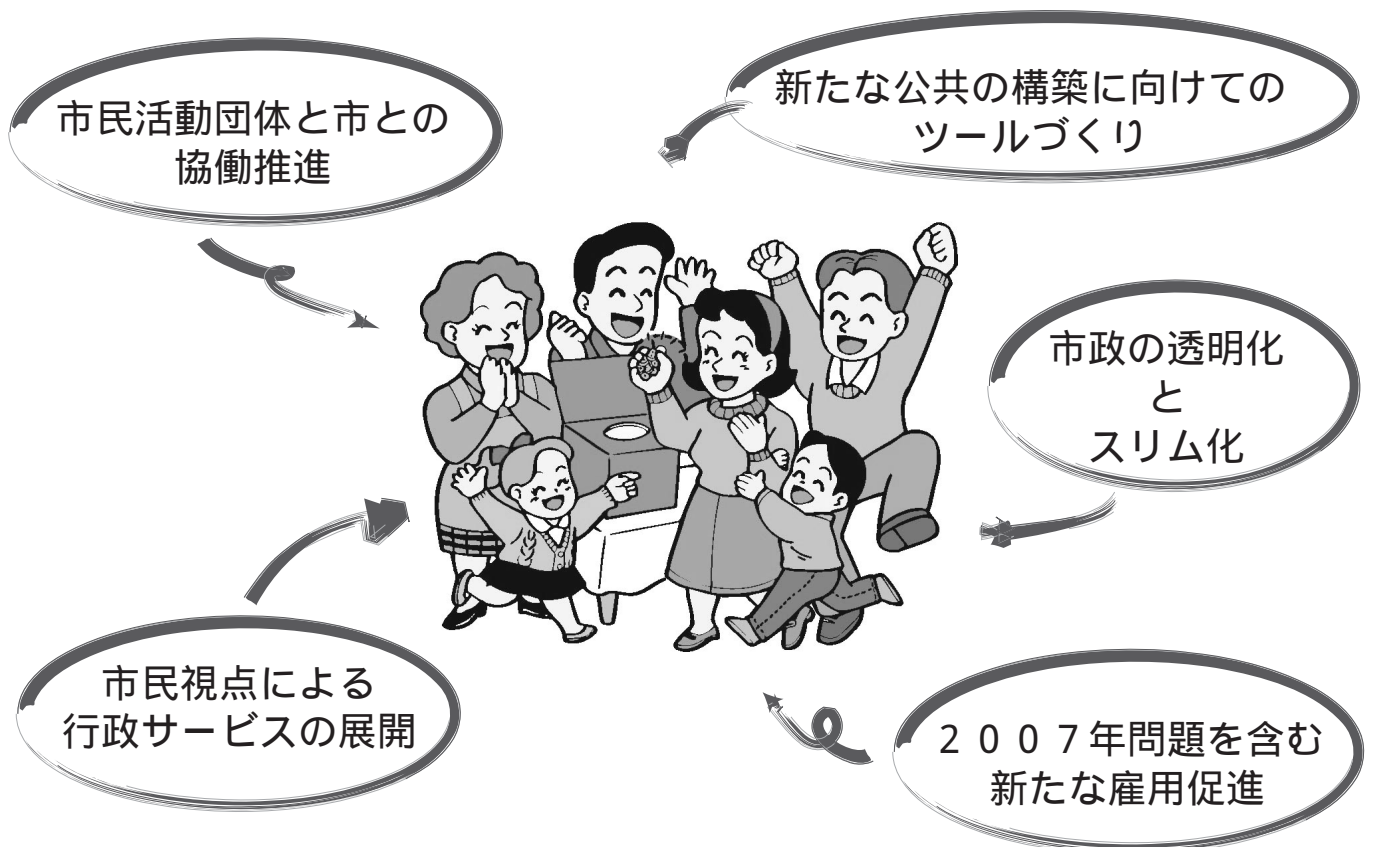
発行 こくぶんじ市民活動センター
発行日 平成19年7月13日

市民活動団体からの 協働事業提案を募集！！

この制度は・・・

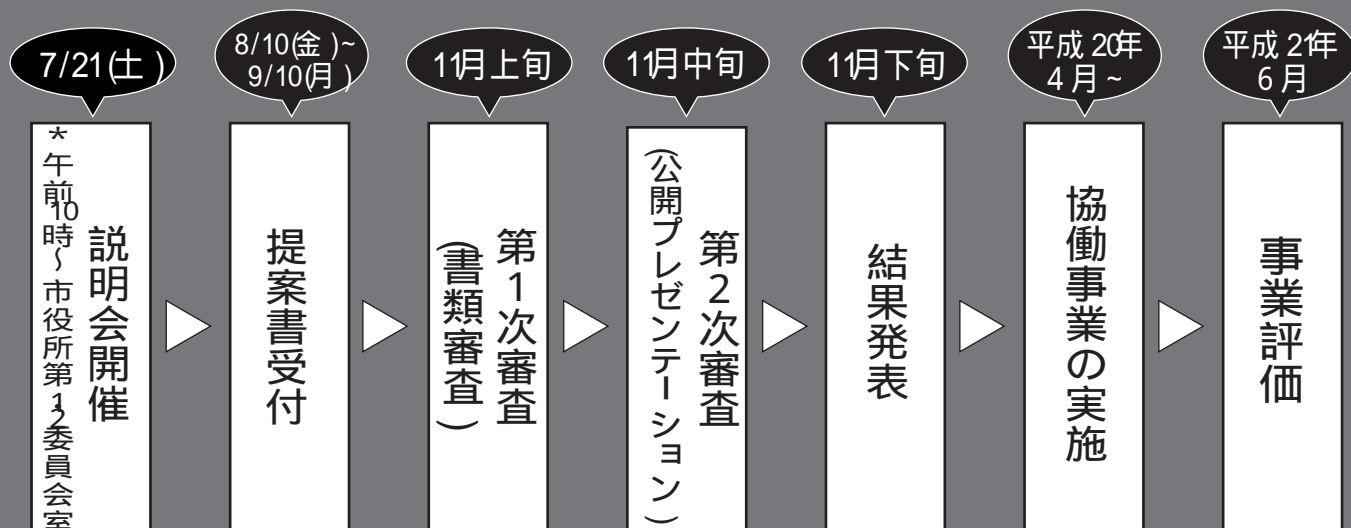
福祉・教育・環境など複雑化・多様化する地域の課題や地域住民のニーズに対して、市民の視点から事業提案をしていただき、市民活動団体と市が協働で行うことで、地域の課題解決、市民サービスの向上を図ることを目的としたものです。

市民生活の中で発生する問題意識や危機意識をもとに誕生し、さまざまなノウハウを蓄積してきた市民活動団体の皆さん、市と共に市民満足度の高い、新たな自治づくりに向けて一緒に担う取り組みをすすめていきませんか！！



【説明会】 日時：7月21日（土）午前10時～
場所：市役所 第1,2委員会室（本庁舎3階）

提案事業の流れ（平成20年度）



提案できる事業

国分寺市内で実施される公益的な事業で、先駆的、専門性、地域性等の特性を持つ市民活動団体と市とが協働で行うことにより、地域や社会の課題を解決することにつながる事業。

既に市などが行っている事業、新規事業のいずれの場合においても、具体的な効果や成果が期待でき、市民サービスの向上が図られる事業であること。

提案できる団体

次の要件のいずれかに該当する市民活動団体であること。

特定非営利活動促進法に基づき設立された法人であること。

国分寺市内に活動拠点又は連絡場所があり、公益性、公開性を有し、「こくぶんじ市民活動センター」に登録している団体で次のいずれにも該当すること。

- 代表者を含み3人以上の役員を置き、かつ、構成員に5人以上の国分寺市民がいること。
- 1年以上継続した活動を行っていること。
- 団体の運営に関する会則、規約に基づき運営され、予算、決算を適正に行っていること。

審査方法

学識経験者やNPO関係者、職員で構成される「協働事業審査会」が、書類審査（第1次審査）、公開プレゼンテーション審査（第2次審査）を行い選定します。

応募方法

「提案書」に別に定める必要書類を添えて、提出してください。募集要領・提案書の様式は、こくぶんじ市民活動センター・文化コミュニティ課で配布します。市ホームページからもダウンロードできます。

国分寺市を拠点とする
NPOの活動取材録

シリーズ・NPOの現場から



第7回 地域の農園を拠点に、誰もが豊かに暮らせるように 特定非営利活動法人 Ohana

国分寺市役所のほど近くに、野菜や草花が育ち、バラが美しく咲く一画があります。NPO法人Ohanaが運営する「恋ヶ窪オハナ農園」です。ここでは、心身の障害や様々な事情で行き場を失った人たちが、サポートを受けながら自立を目指しています。

NPO法人Ohanaは、2004年12月にNPO法人として認証を受け、翌年1月、農地を市から借り上げて整備し、2005年4月に障害者地域活動農園「恋ヶ窪オハナ農園」を開設しました。現在まで、様々な障害を持った人たちが、社会に適應できず引きこもりになってしまった人、若年性認知症の人などが、指導員やボランティアの支援を受けながら、花や野菜の栽培および販売を行っています。昨年度より、東京都の障害者通所訓練事業の認定を受け、その補助のおかげで、当初は週2日だった活動日を週5日に増やすことができました。収穫物の販売(障害者センター)

のほかに、市内11ヶ所の公園の清掃・除草の受託、福祉センター敷地内のフラワーポットの管理などで収益を得ています。

代表の春口さんによると、「より付加価値のある製品を商品化し、少しでも働いた代価を皆に還元できるようにしたい。現在は、商工会の婦人部と連携してブルーベリーを栽培し、ソースなどの商品化を目指しています。珍しいルバーブのジャムやハーブティー、各種の香りバラなどの販売も考えています。」とのことでした。

この他にも、余暇活動の支援として「つばさの会」(バスケットボール)を武蔵台養護学校の体育館を借りて実施、また地域生活の支援として、法人事務所で調理活動「ロコモコサロン」を開いています。

「社会に居場所を失い、家に引きこもっていた人が、農作業をすることで自然と関わり、地域と関わることで見違えるように変わっていく。この農園を拠点に生活支援、就労支援などを継続していきたい。」春口さんの口調はとても穏やかでしたが、この活動に対する強い決意と熱意が感じられました。Ohanaはハワイ語で「家族」の意。地域の人々が家族のように支えあい、暮らしていけるようにとの願いがこめられています。

オハナ農園所在地：国分寺市戸倉1丁目3番10 14
問い合わせ先：春口 明朗(324-6887)

月1回の「摘み取り体験」受け入れ
(新町保育園の子どもたちと)



平成19年度トークサロンを開催しました!

5月28日(月)国分寺Lホールで「トークサロン」を開催しました。当日は、23団体27名が参加され、『何が足りない?何が必要?あなたの市民活動』のテーマでワークショップを行い、活発な議論が展開されました。市民活動団体の課題としては、「人の確保が難しい。(若い人が集まらない)」「活動場所を探すのが大変」「活動資金をどう確保する?」「団体PRや交流の場が欲しい」など「人・場所・資金・情報(広報)」に関することが多く、どの団体にも共通する課題のようでした。また、センターへは、「施設の充実」や「講座などを企画して欲しい」などの声がありました。今回のトークサロンでのご意見をもとに、NPO講座や交流会の開催、助成金情報の提供、ホームページの運用方法について再度検討し、今後のセンター事業に活かしていきたいと考えています。



団体紹介コーナー

団体紹介
随時募集中!

国分寺乳がん友の会 (通称ピンクリボンの会)

国分寺市報平成 18年 6月 15日号で「国分寺乳がん友の会」の設立を呼びかけて設立準備会を発足してから1年が経ちました。ちょうど国ががん対策基本法を成立 (H18.6.16) させたことが報じられていたときでもありました。

設立の趣旨は、乳がん患者や家族が抱えている不安や悩みを、『私はこうして乗り越えた』など気軽におしゃべりできること。そして日常生活をより楽しく豊かに生きる知恵を出し合える会を、国分寺市内に設置することです。

会場は本多公民館。毎月第3土曜日午後1時から役員会、1時半からはどなたでも参加できる“おしゃべりサロン”を開催しています。

19年度は“おしゃべりサロン”を本多公民館と、ふれあいサロン会場の吉田宅(東恋ヶ窪6丁目)の2か所で実施しています。

会報『ピンクリボン』を季刊発行。運営資金ゼロからの出発なので、資金づくりは、チャリティバザーの売上の一部と寄付金及び会費年額1,000円で賄っています。現在登録会員は38名です。



吉田久子
TEL 042-325-0202

編集後記

えん 縁って不思議ですね。目に見えないものですが、いろいろなところでつながっていて、意外なところでもつながっていたり。縁あってスタッフになり3年目を迎えています。センターも、みなさんの“縁結びの場”でありたいと願っています。どうぞお気軽に声をかけてください。(お)



お知らせ

市民活動センター掲示板を 公民館にも設置しました!



皆様にご活用いただいている「市民活動センター掲示板」が、地域センターとボランティア活動センターこくぶんじに加え、市内5ヶ所の公民館にも設置されました。団体のイベント情報などのPRチラシ1部以上を市民活動センターに持ち込んでいただければ、上記のすべての掲示板に掲示できます。ただし、センターでチラシをお預かりしてから実際に掲示するまでには数日かかりますので、ご了承下さい。皆さんの団体の広報活動に是非お役立て下さい

市民活動センターで紙折り機が ご利用いただけます。

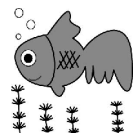


市民活動センターのミーティングルームに紙折り機が設置されました。利用登録団体の皆様にお使いいただけます。ただし、ミーティングルーム使用時にはご利用いただけませんので、事前に予約されることをお勧めいたします。ご予約・お問い合わせ等はお電話か、直接センターまで。

市民活動団体のデータベース 更新にご協力下さい。



今年度市民活動センターでは、市民活動団体のデータベースの更新を行います。市民活動団体のデータを最新のものにし、より使いやすいデータベースに変更します。9月頃、各団体あてに更新のお願いを郵送いたしますので、ぜひご協力をよろしくお願いいたします。



発行・編集 こくぶんじ市民活動センター(市民生活部文化コミュニティ課)
〒185-8501 東京都国分寺市戸倉 1-6-1
TEL 042-325-0111・内線 228 / FAX 042-325-0140
e-mail kccpc@t.iara.ocn.ne.jp
http://www.collabo-kokubunji.com
開館時間 9:00~ 17:00 年中無休(ただし年末年始を除く)
平成19年7月13日発行

